



# 第2四半期累計 決算説明会

## 第30期（2019年2月期）

株式会社グラファイトデザイン

# 7 8 4 7

2018年 10月 15日（月）



## 免責事項

本プレゼンテーション資料に記載されている株式会社グラフィックデザインの今期の事業内容に関する記述、将来の数値、各種グラフなどは弊社における将来の見通しを示すものです。当該資料の作成にあたっては、経営部門が入手した情報に基づく予測及び判断を基礎としております。

したがって、これらの実現については、弊社が継続して事業を展開する上で不可避の潜在的リスクである、経済状況、新サービスの成否、他社との競争状況などの不確実性を含んでいます。

本プレゼンテーションにおいて使用されている商標は、関係各社の保有する登録商標または出願商標です。



# 1. 2019年2月期 第2四半期累計の実績

(財務ハイライト)



## 第2四半期累計の実績

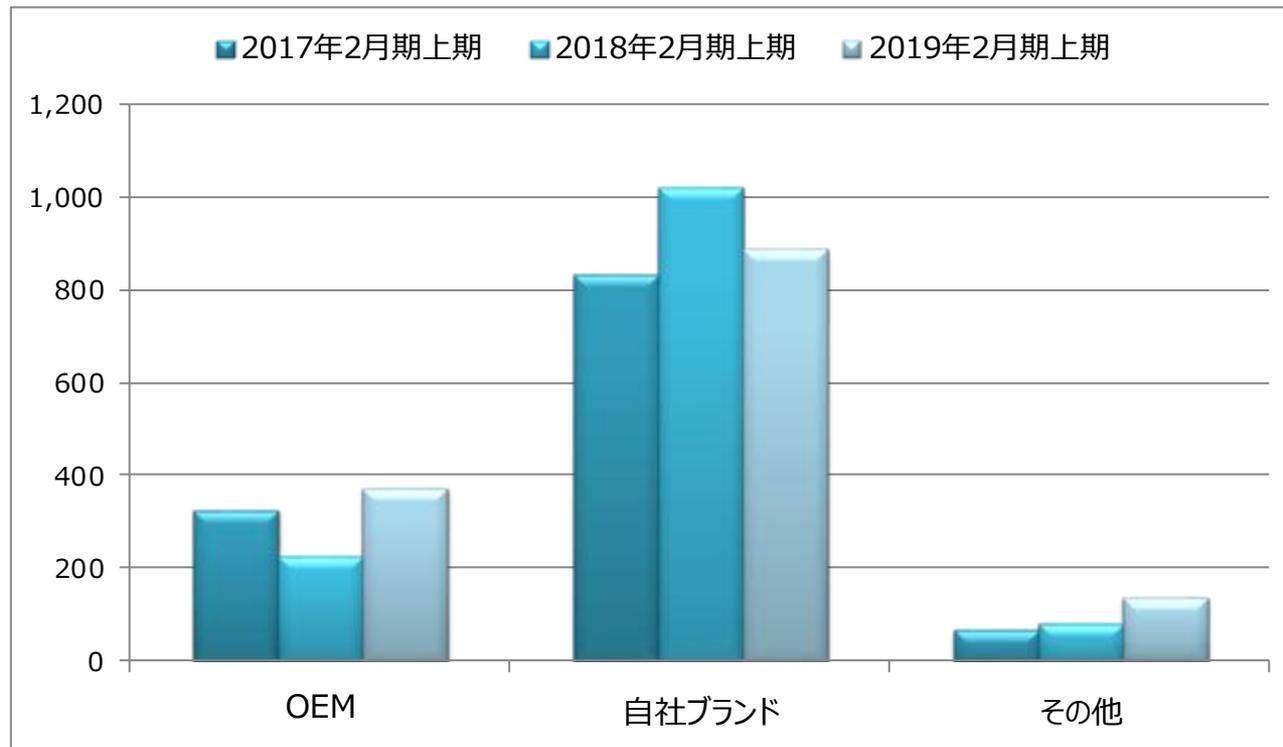
(百万円)

	2018.2 第2四半期 累計	2019.2 第2四半期 累計 予想	2019.2 第2四半期 累計 実績	構成比	前期比 増減	前期比 増減率
売上高	1,326	1,345	1,400	-	74	6% 増
営業利益	124	125	80	5.7%	▲ 44	35% 減
経常利益	122	125	105	7.5%	▲ 17	14% 減
当期純利益	75	82	66	4.7%	▲ 9	12% 減



# 売上構成（実績）

(百万円)



	OEM	自社ブランド	その他	計
2017年2月期上期	325	835	67	1,227
2018年2月期上期	225	1,019	82	1,326
2019年2月期上期	374	887	139	1,400



# 貸借対照表

(百万円)

科目	2018年2月	2018年8月
資産の部		
流動資産	4,309	4,080
固定資産	1,039	1,135
有形固定資産	784	870
無形固定資産	29	37
投資その他の資産	225	227
資産合計	5,349	5,215

総資産	5,349	5,215
純資産	4,361	4,276
自己資本比率	81.5%	82.0%

科目	2018年2月	2018年8月
負債の部		
流動負債	747	670
固定負債	241	267
負債合計	988	938
純資産の部		
資本金	589	589
資本剰余金	582	582
自己株式	-456	-456
利益剰余金	3,648	3,567
株主資本合計	4,364	4,283
評価・換算差額等合計	-3	-6
純資産合計	4,361	4,276
負債・純資産合計	5,349	5,215



## 2. 2019年2月期の通期見通し

(業績見通し)



# 2019年2月期業績見通し

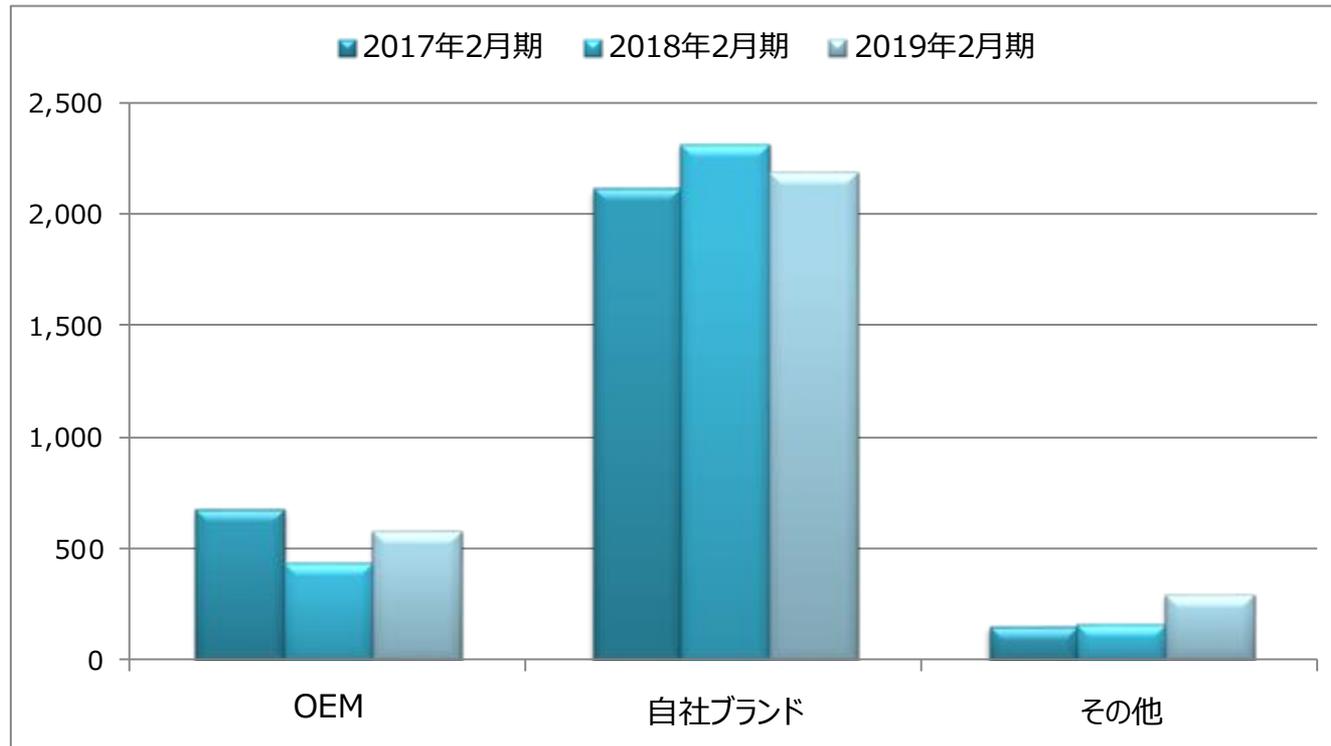
(百万円)

	2018年2月期				2019年2月期 予想				対2018 増減率
	上期	下期	通期	構成比	上期実績	下期	通期	構成比	
売上高	1,326	1,595	2,921	-	1,400	1,665	3,065	-	4.9% 増
営業利益	124	290	414	14.2%	80	295	375	12.2%	9.4% 減
経常利益	122	278	400	13.7%	105	294	399	13.0%	0.3% 減
当期純利益	75	182	257	8.8%	66	179	245	8.0%	4.7% 減



# 売上構成（見込み）

（百万円）



	OEM	自社ブランド	その他	計
2017年2月期	680	2,118	148	2,946
2018年2月期	441	2,316	164	2,921
2019年2月期	581	2,190	294	3,065



# 業績の推移

(百万円)

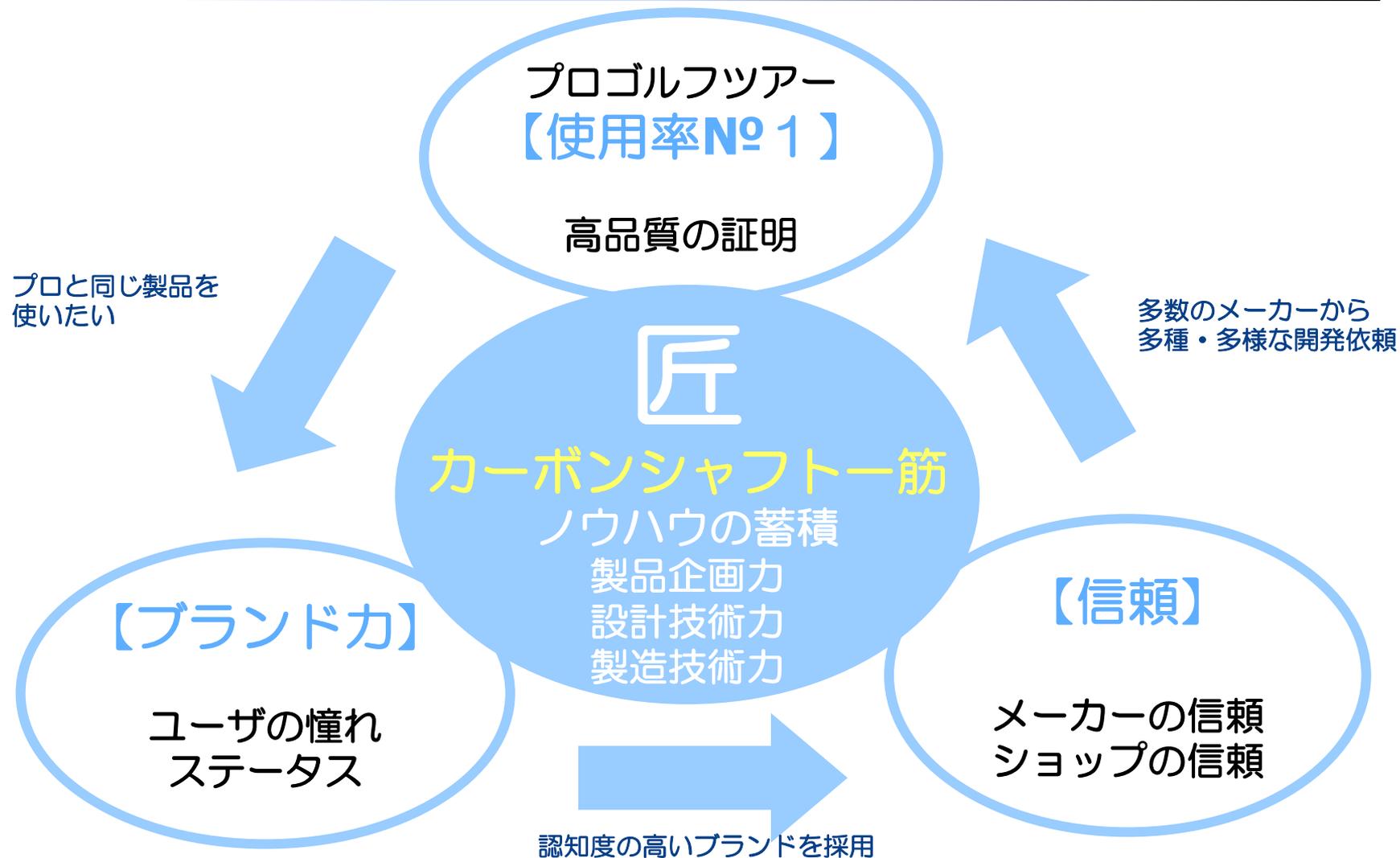




### 3. 現状と今後の展開

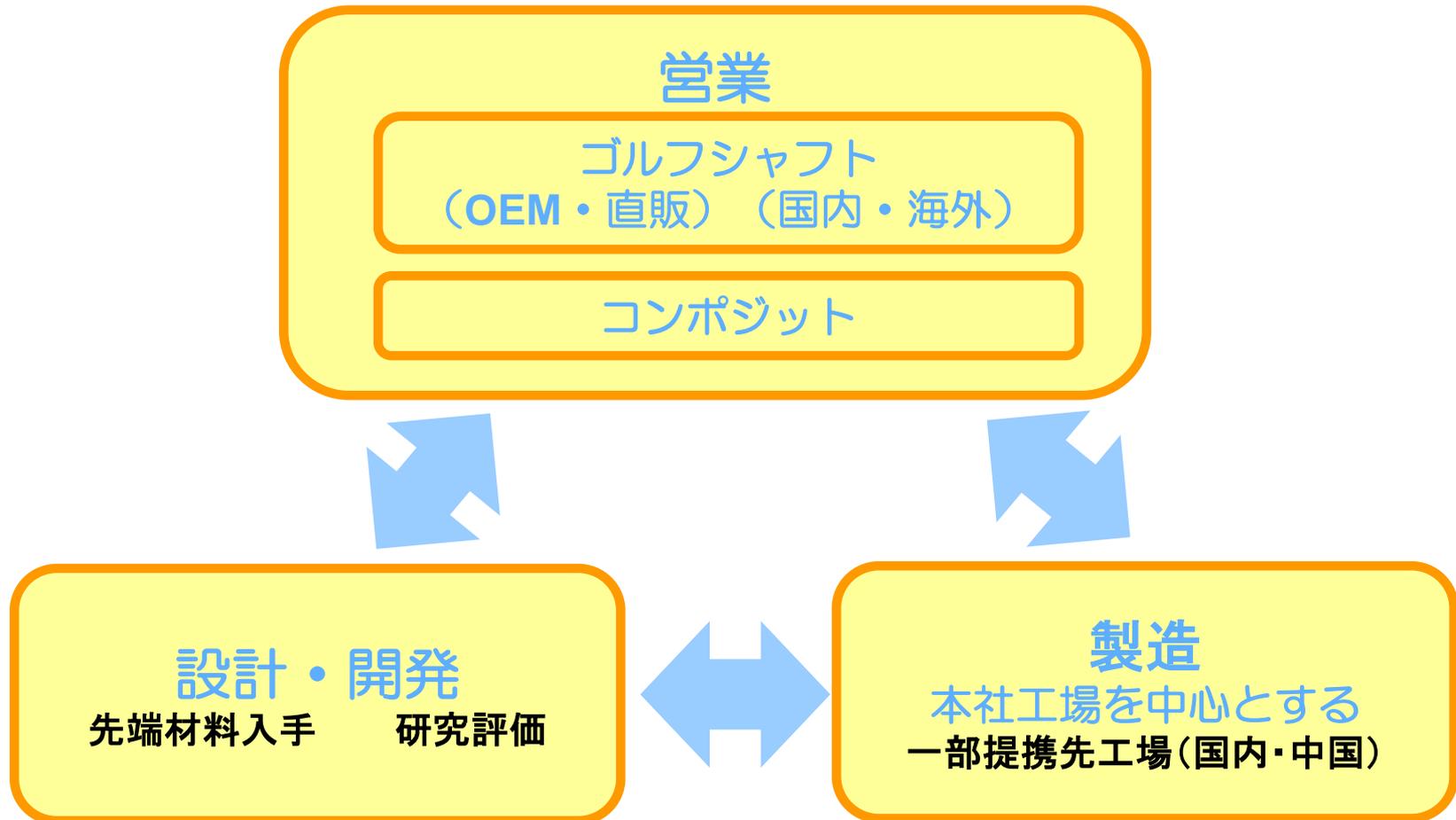


# 当社の強み





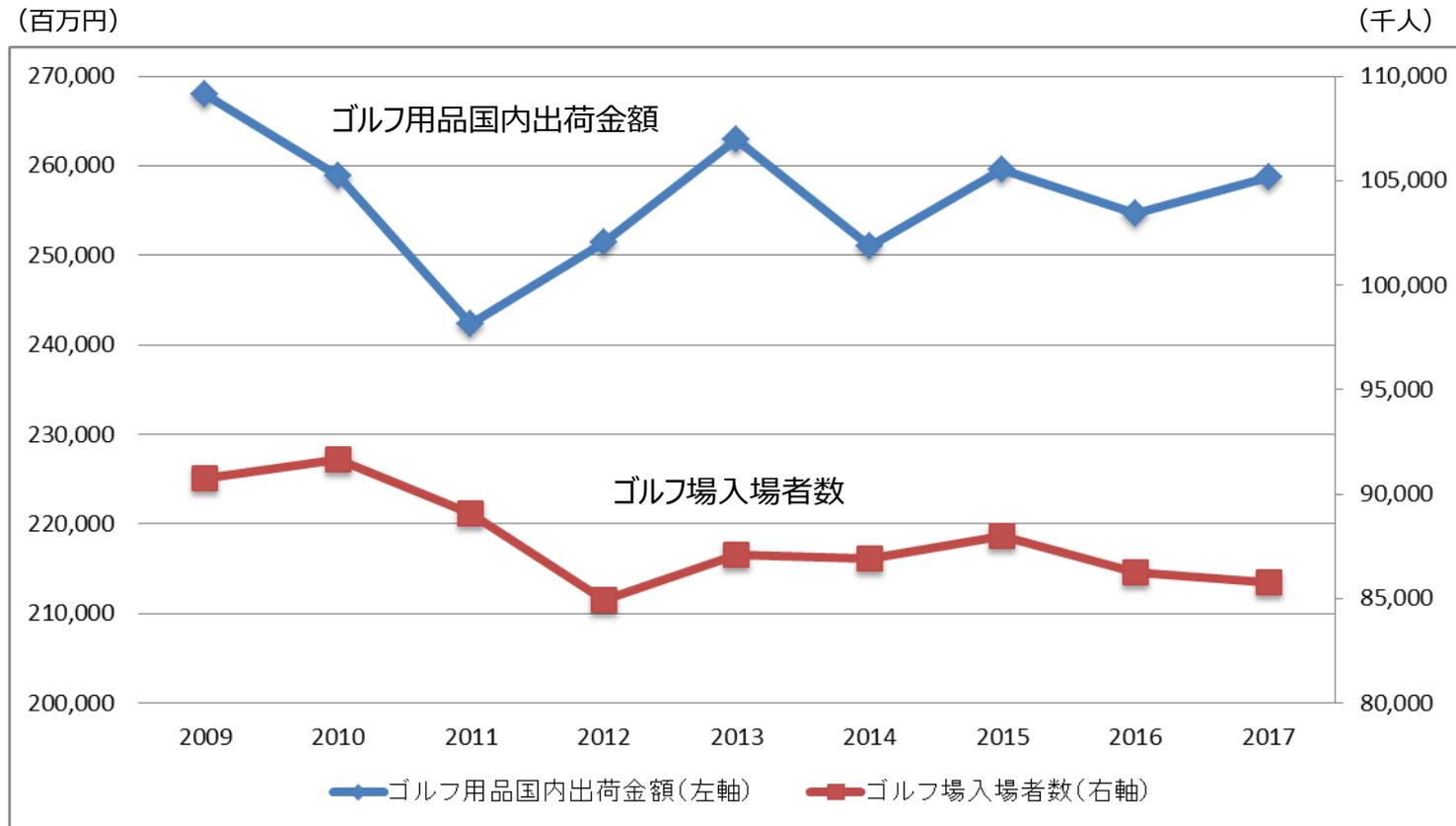
# 体制





# ゴルフ市場動向（１）

## — ゴルフ場入場者数とゴルフ用品国内出荷金額の推移 —





## ゴルフ市場動向（２）

— 2018年度上半期のゴルフ市場状況 —

※ゴルフ用品全体が増加

	前年同期比
ゴルフ場入場者数	97.6%
ゴルフ用品全体の販売金額	107.3%
ゴルフクラブ販売金額	112.8%
ゴルフ消耗品販売金額	96.3%

【 ゴルフクラブの 前年同期比 】

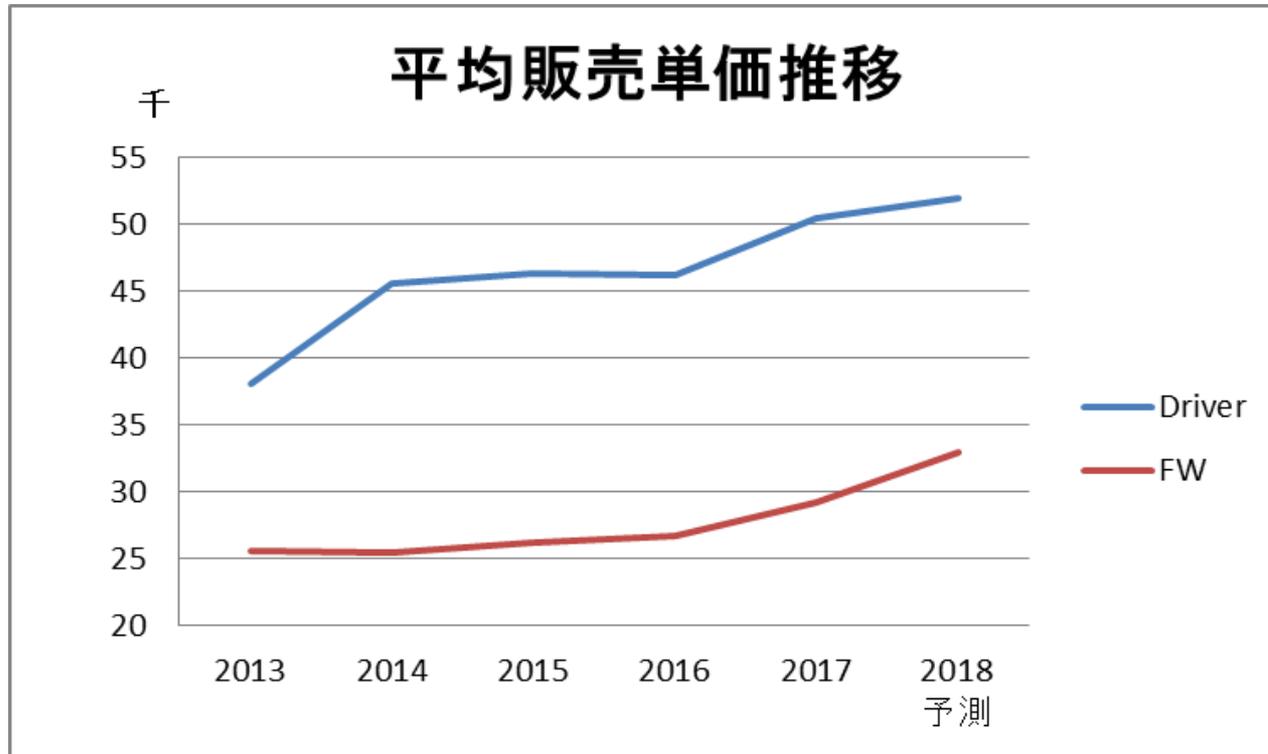
品種	販売数量	販売金額
Driver		
	115.3%	110.2%
Fairway wood		
	115.0%	117.5%

— 2018年度上半期の速報 —

- ・ゴルフ場入場者数は、年初の低気温及び降雪が多かった影響でマイナス
- ・Wood販売は、年初は値下げ品が好調で、2月以降は新製品がヒットしたことで、販売が好調に推移



## ゴルフ市場動向（3）



・クラブ価格適正化の波は継続



# ゴルフ市場動向（４）

## 【ゴルフ市場活性化のための業界の取り組み】

1. 新規ゴルファー創出（新規ゴルファーの参入促進、育成）
  - ・「ゴルマジ」・「楽ゴル」・「Gちゃれ」
  - ・「試打クラブ無償提供」・「大学へのクラブ提供」など
  - ・レンタル制度の充実により新規ゴルファーの創出(シェアリングエコノミー)検討
2. R&Aによる「9ホールゴルフ」の促進（英国でアマチュア競技も開催）
  - ・「時間が掛かりすぎる」・「費用が掛かりすぎる」を払しょく
3. R&AとUSGAが「ゴルフ規則を近代化するための変更案」（ルールの簡素化）を発表
  - ・各種罰則の免除や軽減　・グリーン・バンカーの規制緩和
  - ・プレーのペース支援など大幅な変更が検討されている
4. 各クラブメーカーによる「高反発クラブ対応」
  - ・飛距離の落ちたシニア層の繋ぎ止め（あえてルール非適合）

※USPGAツアーを、2019年から日本で開催

※2020東京オリンピックで、ゴルフが競技種目



# シャフト事業の今後の展開

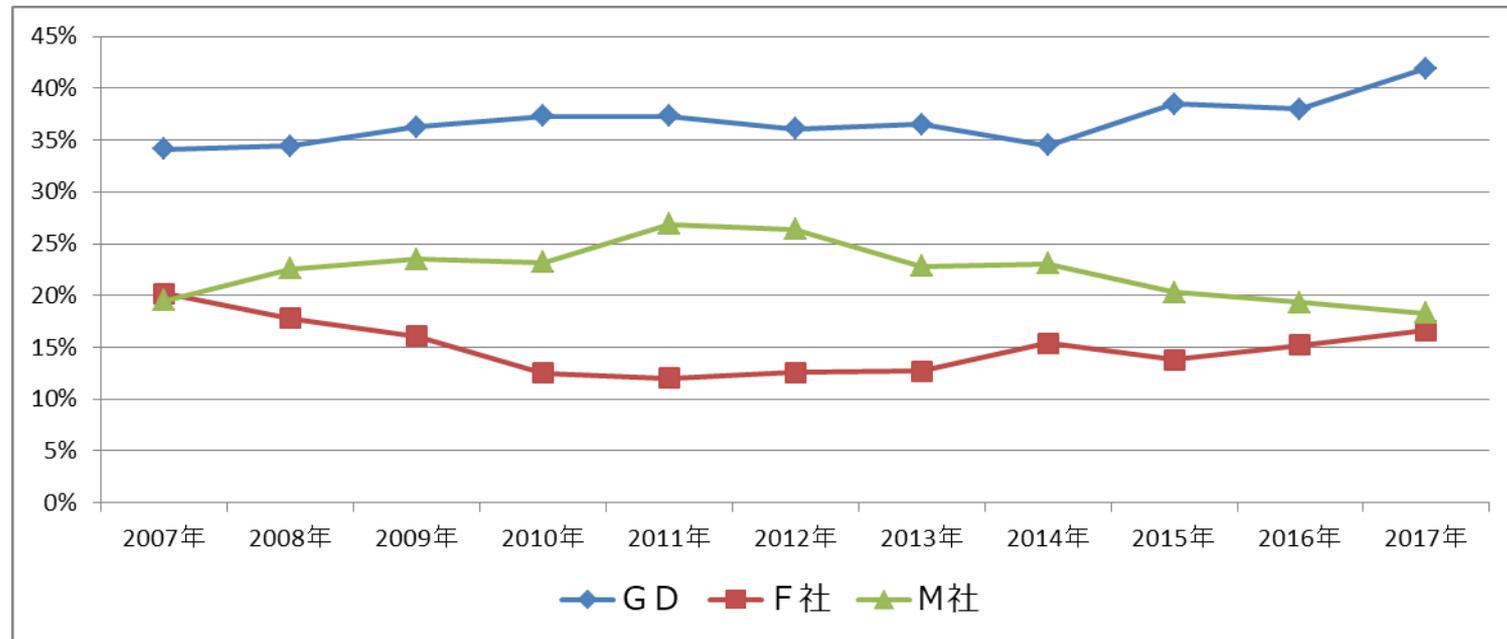
1. 国内ツアー使用率No. 1 を維持
  - ・ブランド地位を一段と強固に！
  
2. 新製品開発
  - ・毎年 1 モデルの主力製品を発売
  - ・プレミアムゾーンのリシャフト専用シャフトの継続開発
  
3. ブランド力を生かした更なるシェア拡大
  - ・リシャフト市場の拡大  
(各施策による販売店満足度向上⇒GDシャフト発注数UP)
  - ・他業種とコラボした販促活動
  
4. 海外展開
  - ・アジア市場への拡販
  - ・米国プロツアーへのアプローチ強化
  - ・フィッティングビジネス市場拡大への対応





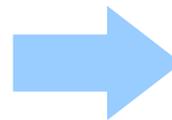
# 国内ツアー（10年間の推移）

## 日本プロツアー 全Wood shaft使用率（男子）



(資料：ダレルサーベイ社)

- 品質における信頼性の構築
- ブランドの確立が強固

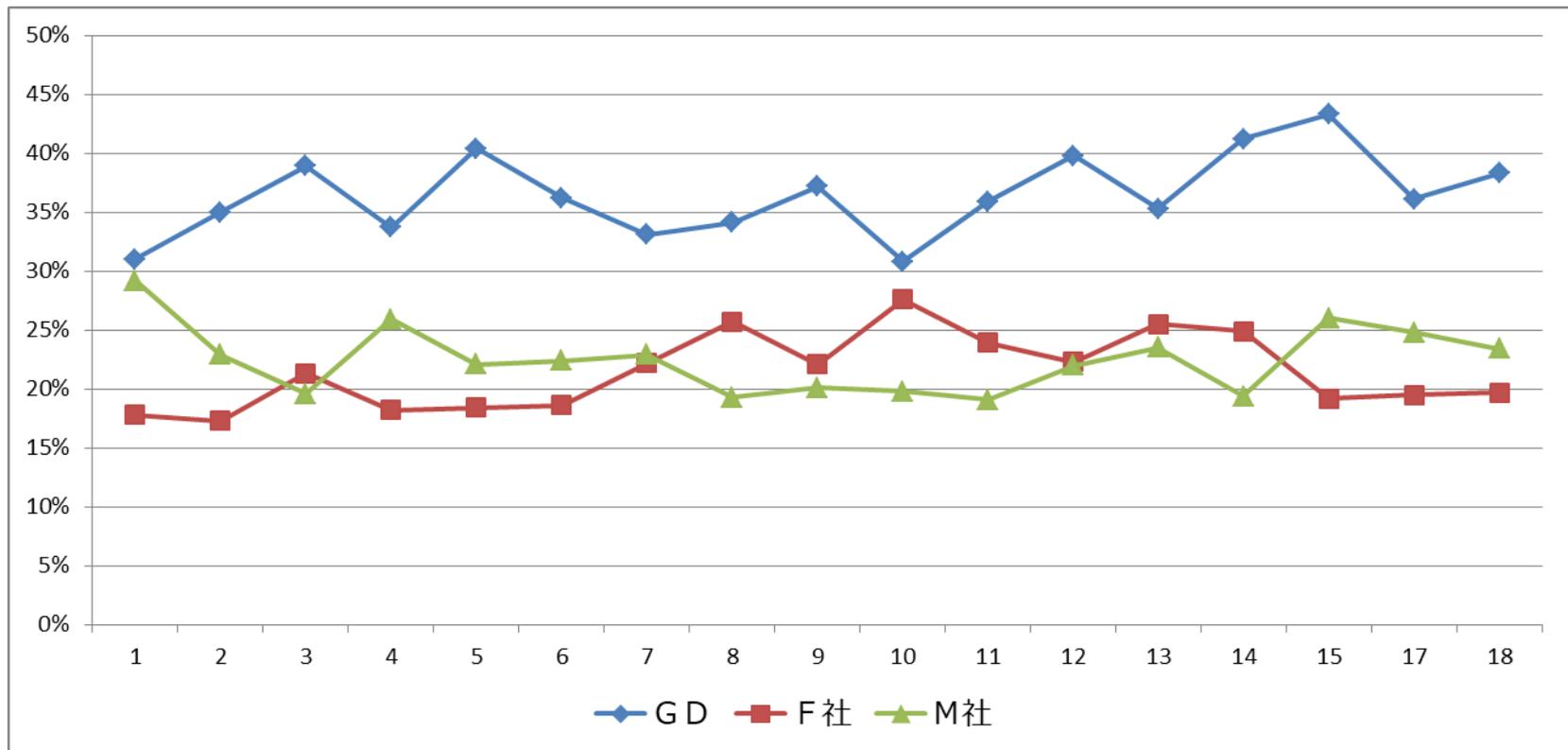


- カスタム品販売拡大
- リシャフト市場での販売拡大



# 国内ツアー（2018年度）

## 2018年度日本プロツアー 全Wood shaft使用率（男子）



(資料：ダレルサーベイ社)



# 自社ブランド (2019モデル)

## — Tour AD 2019モデル VR —

# VR

【Vanquish all Rivals】  
すべてのライバルに打ち勝つ！

プロ使用率の高いPTとTPの  
特性を踏襲



# 自社ブランド 販売状況



※販売開始から1年間の実績（8月～翌7月）

## 2018モデル「IZ」

好調だった2017モデル「TP」の水準には届かなかった



# 自社ブランド

【フェアウェイウッド専用シャフト（Fシリーズ）】



試打会での評判良好（PTのようにしなり振りやすい！）

【リシャフト向けプレミアムゾーンの新製品（秩父）】



試打会での評判良好（飛距離UP！）

口コミで広がりを見せている

※UT・アイアン用を順次発売予定



# 自社ブランド展開

## Wood

TOURAD GRAPHITE DESIGN VR-6 FLEX S

—ラインナップ—

VR I Z  
MJ MT  
DI DJ

## Utility (Hybrid)

Tour AD DI-85x HYBRID

- 米国での需要が高まる  
アンから  
yへ

## Iron

Tour AD GRAPHITE DESIGN

軽量からスチールライクまで対応

## 軽量シャフト(40g台)

TOURAD GRAPHITE DESIGN VR-4 FLEX S

## プレミアムゾーン

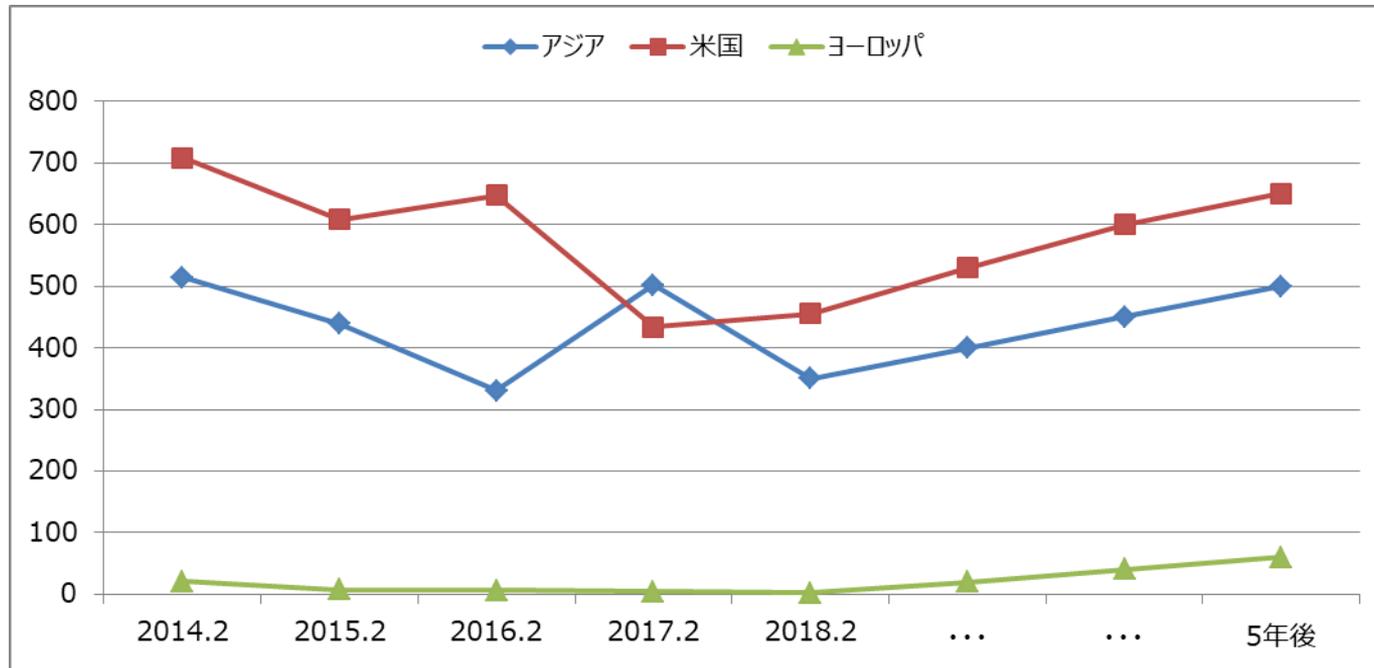




# 海外売上推移

## 海外地域別売上推移イメージ

(金額ベース)



注) OEM及び自社ブランドのすべての売上が対象

※ Tour ADのブランド力を浸透させて自社ブランドの拡販に注力

※ 米国専用モデルの開発



# テストセンター活用

## テストセンターの活用による 販売促進

ハイスピードカメラ



試打ロボット



レーザー弾道測定機





## 【新分野開拓】





# コンポジット

— 各部署にコンポジット専任を配置 —

## 【営業部門】

ゴルフシャフト・サイクルフレーム販売で  
蓄積されたノウハウの応用  
※コンポジット専任

## 【開発部門】

カーボン積層技術ノウハウ  
※コンポジット専任

## 【生産技術部門】

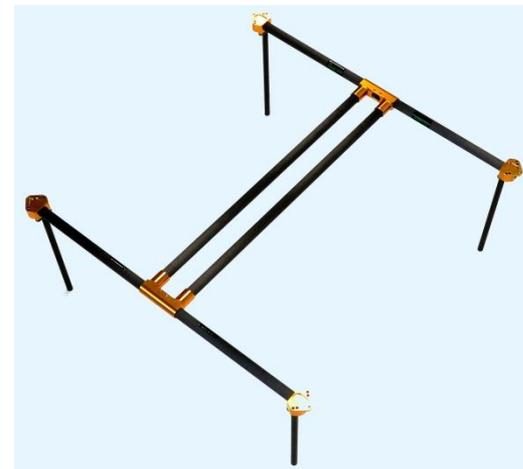
カーボン加工技術信頼の品質  
※コンポジット専任

※各部門のノウハウを集結しつつ、コンポジット専任体制でスピードアップ



# 採用実績

- 自動車関連  
オプションパーツ（ストラットタワーバー他）
- 日用品関連  
文具等
- ドローン関連  
ドローン用CFRPフレーム他
- 産業関連  
ロボット用パイプ等
- その他多分野





# パイプ製品加工技術の研究開発

## 【カーボンパイプ特殊加工】

・異形パイプ加工の研究・試作

楕円パイプ  
角パイプ  
曲げ加工  
太径パイプ  
細径パイプ

※十数社と取引

※幅広い産業分野への展開目指す

## 【新規プロジェクト】

・カーボン加工技術の向上  
・カーボンの可能性を追求  
・技術力の発信





# 展示会参加（取引先開拓）

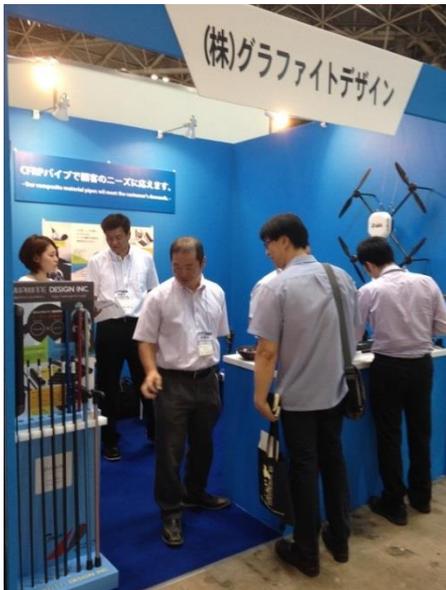
2013.6 出展開始

2017.10 IPF Japan 2017 (国際プラスチックフェア)に出展

2018.6 機械要素技術展 (M-Tech) に出展

2019.2 機械要素技術展 (M-Tech) に出展予定(ブース拡張)

- 新たな業界との取引開始
- OEM供給開始

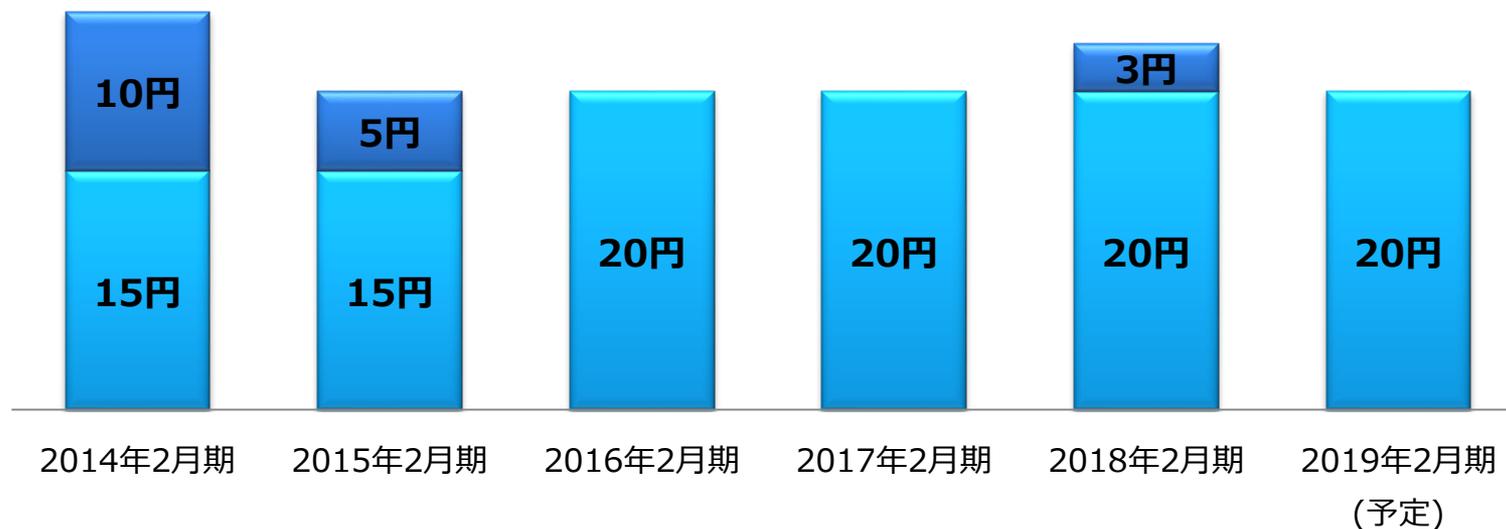




# 配当

配当金は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していきます。

■ 普通配当 ■ 特別配当



配当性向： (15.0%) (19.4%) (79.7%) (51.8%) (57.3%) (45.9%)



本日は、ご清聴ありがとうございました。  
今後とも、宜しく御願いたします。